



ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 133

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 戦時中の国民学校の運動会の種目を知りたい。

答) いくつかのことばを組み合わせてみます。

全資料	→	運動会 プログラム	→	9件
全資料	→	学校 行事 運動会	→	39件



『「昭和」の学校行事』(374.4/Ko75 開架一般)

『昭和戦争期の国民学校』(372.1/To17 開架一般)

また、終戦直後の運動会の様子を紹介するものとして、

『あゝ国民学校 敗戦・ある代用教員の記録』(370/N14 閉架書庫)が
あります。

これらの本にのっているプログラムを見比べると、突然価値観が変わって
しまった世の中や教育に戸惑い、苦勞する教員たちの様子がよくわかります。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



いんぺい 隠蔽された戦中の地震

これほどまでの自然のパワーを目の当たりにし、自然界の持つ巨大なエネルギーの前に唯々、呆然と立ち尽くす人々。3月11日に発生した1000年に一度と言われる東日本大震災は、戦後日本の最悪の惨事。M9.0の大地震と巨大津波、そしてこれらに起因する原子力発電所の事故等…。今なお、その危機から解放されていない。被災地の様子は、刻々と電波をとおして発信され、がれきと化した市町村の惨状を知る。諸外国からも援助の手がさしのべられている。だが、かつての日本には、このような地震災害をできるかぎり知られないようにと官民一体となって、覆い隠した時代があった。

太平洋戦争開戦の昭和16年12月8日から終戦の昭和20年8月15日までの間には、鳥取地震(M7.2)18年9月10日、東南海地震(M7.9)19年12月7日、三河地震(M6.8)20年1月13日と、三回もの大きな地震が発生している。なかでも特筆すべき東南海地震は志摩半島南南東沖を震源に、静岡・愛知・三重・和歌山の各県沿岸と長野県の町村に甚大な被害をもたらした。この日は開戦からちょうど3年目、すでに絶望的な戦況のなか、開戦記念日として、より一層の戦意昂揚を図らなければならない時期であった。

愛知県半田市の軍需工場、中島飛行機半田製作所では二つの工場に勤労働員されていた学徒96人を含む153人の命が奪われた。もともと紡績工場を買収したこの建物は飛行機工場として広く使用するため、間仕切りの一部や支柱を取り除いており、耐震性は保たれていなかった。さらに軍部はこの惨事を敵国に知られることを恐れ、被害を矮小化し、その状況を語らせないよう、国民に箝口令かんこうれいをしいた。新聞各紙も検閲を恐れ、記事の取り扱いは目立たぬよう、わずかなものであった。しかし、米国は地震計の記録等によって震源や規模を解析、ニューヨーク・タイムスは「日本の中部で大地震があり、軍需工場に壊滅的な打撃を与えた」と伝えた。

この地震から37日後の終戦の年に発生したのが三河地震。震源は三河湾で深さ11kmと浅く、東南海地震最大規模の余震とみられている。3時38分という未明の直下型であった為、逃げ出す余裕がなかったことが多くの犠牲者を出すこととなった。戦禍を避ける為に集団疎開をしていた学童らも前月の地震で弱体化していた建物の倒壊により犠牲となった。東南海地震と同様に新聞・ラジオの報道は小さいものだった。東海地方の軍需工場は壊滅的な打撃を受け、航空機や兵器は減産を余儀なくされ、日本の敗戦を早めたともいわれる。

この二つの地震災害は語ることも許されず、被災者の辛い思いは理解されない。「天災というより人災であり、戦争災害であった」と後に語られた。

◎参考文献:「隠された大震災」(369.31/Y44)開架書棚

「哀惜1000人の青春」(210.75/Sa85)閉架書庫

「激動の庭」(372.1/U36)閉架書庫

「新宮市史」(216/6/Sh62)閉架書庫

「女学生の太平洋戦争」(916/Se24)閉架書庫

※地震に関する図書を揃えたコーナーを開架書棚にご用意しております。ぜひご覧ください。

—図書室から—

数十冊の本が書架から落下いたしました。所蔵点検の為、閉室中の震災でした。オープンが遅れ、ご迷惑をおかけいたしました。節電等の為、当分の間ご利用時間短縮でご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

ぶらりらいぶらりい～図書室にはこんな本があります～ NO. 133

2011年4月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1